

# 事業報告

平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期における日本経済は、年間をとおして緩やかな回復基調が続きましたが、この中で観光・旅行業では、平成29年度における訪日外客数が、年間2,716万人と、前年度に比べ234万人の増、9.4%の伸びとなりました。都道府県別に見ると愛知県は全国第7位の260万人と見られています。国別では中国、韓国、台湾、香港で全体の73%を占めています。

このような状況の中で、基幹事業であります展望事業は、名古屋の夜景に魅力的な演出を施したプロジェクションマッピングを夏期から秋期にかけて「SKY THEATER氷の塔の眠り姫」、冬期には「CITY LIGHT FANTASIA」を開催、また、「恋人の聖地」のモニュメントがあるスカイバルコニーでは、四季折々の植栽で彩り、天空の庭園「こいにわ」として大都会の憩いの場としてお楽しみいただきました。

さらにLEDによる新ライティング「煌」事業では、名古屋の魅力発掘をテーマとした放送番組の周知広報など年間をとおして情報発信に努めてまいりました。地域との連携事業として、近隣ホテルとの共同企画「夜景を二人占め」、インパウンドに向けた近隣の店舗との集客活動、また、久屋大通発展会はじめ周辺団体との共催による久屋大通公園を中心に各種イベントを積極的に実施してまいりました。

経営の最重要課題として取り組んできました「名古屋テレビ塔再生事業」につきましては、平成28年度から施設の基本・実施設計に着手し、引き続き今年度も整備計画の策定に向けて検討を進めてまいりました。

一方、名古屋市による久屋大通公園の再生事業については、平成30年2月に都市公園におけるパークPFI方式の採用により、民間整備運営事業者が選定され、2020年の完成に向けて動き始めました。

この結果、当期における有料入場者数は184,933人(前年に比べ1.9%減)、また、無料を含む総入場者数は300,968人(前年に比べ0.3%増)となりました。これにより、当期における売上高合計は196,841千円(前年に比べ13.8%減)、販売費及び一般管理費合計は175,259千円(前年に比べ18.7%減)、営業利益は21,528千円、当期純利益は5,322千円となりました。

平成29年度は、株主の皆様をはじめ、多くの企業、団体そして愛知県民、名古屋市民の皆様にあたたかいご支援・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。いよいよ平成30年度は、名古屋市による久屋大通公園再生事業を担う民間整備運営事業者と連携を密に総合整備計画の策定とともに整備工事着工に向けた諸準備を進めてまいります。この正念場に役職員一同全力をあげる決意でございます。引き続き、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。